

## 第2回「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会次第

令和6年3月7日（木） 14：00～  
北海道自治労会館 4階 第4会議室  
札幌市北区北6条西7丁目5-3

### 1. 開会挨拶

### 2. 報告事項

(1) 令和5年度「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会の  
アンケート結果について . . .【資料1】

(2) 農林水産省ワーキンググループ(WG)に関する  
情報提供について . . .【資料2】

### 3. 議 題

(1) 令和5年度活動報告について . . .【資料3】

(2) 今後に向けた本研究会での検討内容について . . .【資料4】

〈休憩〉

(3) 令和6年度事例研究会行動計画（案）について . . .【資料5】

(4) 事例研究会員の委嘱について

(5) その他

### 4. 全体意見交換

「とんぼの未来・北の里づくり」  
令和5年度第2回事例研究会参加者名簿

No	局名	市町村名	区分	地帯	組織名	役職	氏名
1	空知	岩見沢市	組織	田	岩見沢市広域協定	代表	干場 法美
2	上川	比布町	団体	田	大雪土地改良区 工務課	課長補佐	永山 大嗣
3	上川	旭川市	団体	田	旭川土地改良区 建設課	課長	鈴木 将浩
4	オホーツク	大空町	組織	畑	大空町広域協定運営委員会	会長	今多 信悟
5	後志	真狩村	組織	畑	まっかりニコニコクラブ広域協定	会長	向井 芳和
6	空知	岩見沢市	行政	田	岩見沢市農政部農業基盤整備課基盤整備係	係長	小野 洋志
7	十勝	帯広市	行政	畑	帯広市農政部農政室農村振興課農村振興係	主任補	鈴木 由菜
8	根室	別海町	行政	草	別海町産業振興部農政課	主事	友貞 公宏
9			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	多面的機能支払係長	小笠原 貴明
10			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	主査	西村 久範
11			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	副主幹	佐藤 秀哉
12			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	主査	松野 弘宗

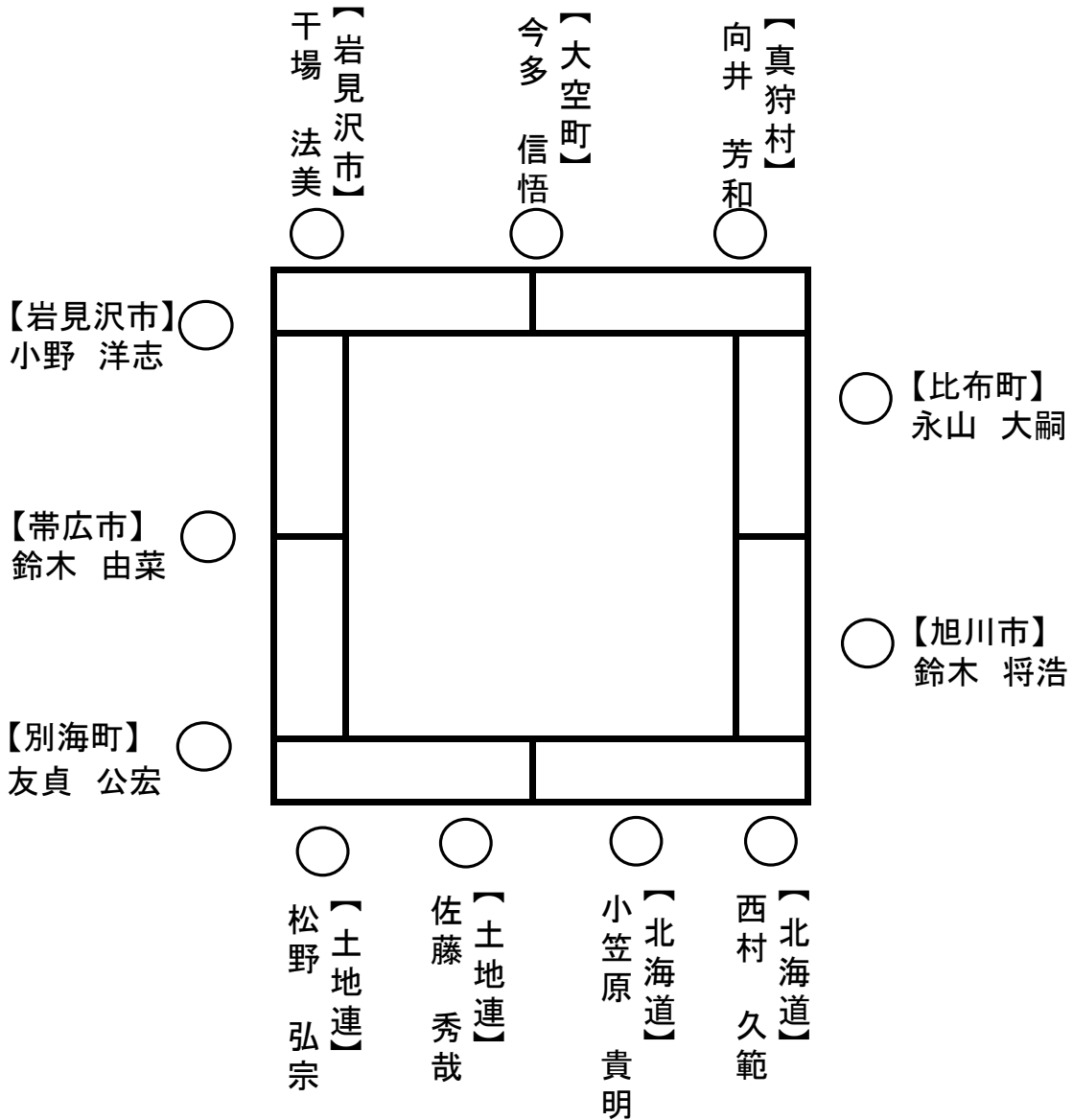
※欠席者：小嶋主事(岩見沢市)、佐藤事務局長(留萌市)、目黒顧問(富良野市)、藤川会長(音更町)

			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	課長補佐	城野 直哉
			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	主事	松本 志穂
			道協議会		水土里ネット北海道技術部	部長	平田 孝祐
			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	課長	八百川 朋世
			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	指導役	金津谷 博一
			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	指導役	寒河江 茂芳
			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	指導専門員	千葉 正志
			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	主事補	板谷 勇希

# とんぼの未来・北の里づくり 第2回事例研究会 配席図

令和6年3月7日(木)14:00～

北海道自治労会館 第4会議室



--	--	--

--	--	--

# 「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会 設置要領

平成 29 年 12 月 14 日制定

令和元年度 11 月 26 日改正

## 1. 趣旨

北海道における農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、多面的機能支払事業における効果的な活動事例などの情報収集を行い、各々の地域の状況に応じた更なる活動の充実・発展を図るために、事例内容について検討を行い、発信等を行うことを目的として、この会を設置する。

## 2. 構成

本会は、11名の活動組織構成員、6名の市町村職員と各2名の北海道及び北海道土地改良事業団体連合会職員の計21名程度で構成する。

- (1) 活動組織構成員は、水田地域4名、畑地域4名、草地域3名の次世代にわたる農業者等の11名程度とする。
- (2) 市町村職員は、水田地域、畑地域、草地域の本事業を担当する者から各々2名の6名程度とする。
- (3) 北海道及び北海道土地改良事業団体連合会職員は、北海道日本型直接支払推進協議会事務局から各々2名の4名程度とする。
- (4) その他、必要に応じて指導助言・意見聴取のため、第三者を招集することを可能とする。

## 3. 活動内容

本会では、次の活動を行うものとする。

- (1) 本事業における効果的な活動事例や要望の多い活動事例などの情報収集
- (2) 事例内容についての検討及び必要に応じた調査
- (3) 活動組織及び市町村等へ活動事例や検討結果等の情報発信
- (4) 北海道地域活動指針に追加すべき活動項目の抽出・調査・検討
- (5) その他多面的機能支払事業の効果的な取組に必要な事業等

## 4. 主管

北海道日本型直接支払推進協議会

## 5. 庶務

北海道日本型直接支払推進協議会事務局

(北海道土地改良事業団体連合会技術部地域支援課)

## 6. その他

この要領に定めるもののほか、本会の設置、運営等に関し必要な事項は別に定める。

# 「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会

R5.7時点

会員No	局名	市町村名	区分	地帯	組織名	役職	氏名	入会年度
1	空知	岩見沢市	組織	田	岩見沢市広域協定	代表	干場 法美	R1
2	空知	岩見沢市	団体	田	北海道土地改良区 総務課	主事	小嶋 凌太	R1
3	上川	比布町	団体	田	大雪土地改良区 工務課	課長補佐	永山 大嗣	R4
4	上川	旭川市	団体	田	旭川土地改良区 建設課	課長	鈴木 将浩	R1
5	留萌	留萌市	団体	田	NPO法人るもい農業応援隊	事務局長	佐藤 武志	R1
6	上川	富良野市	組織	畑	富良野東部地区環境保全会	顧問	目黒 英治	R4
7	十勝	音更町	組織	畑	東十勝環境保全会	会長	藤川 征二	R4
8	オホーツク	大空町	組織	畑	大空町広域協定運営委員会	会長	今多 信悟	R4
9	後志	真狩村	組織	畑	まっかりニコニコクラブ広域協定	会長	向井 芳和	R1
10	空知	岩見沢市	行政	田	岩見沢市農政部農業基盤整備課基盤整備係	係長	小野 洋志	R5
11	十勝	帯広市	行政	畑	帯広市農政部農政室農村振興課農村振興係	主任補	鈴木 由菜	R5
12	根室	別海町	行政	草	別海町産業振興部農政課	主事	友貞 公宏	R3
13			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	多面的機能支払係長	小笠原 貴明	R4
14			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	主査	西村 久範	R5
15			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	副主幹	佐藤 秀哉	H29
16			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	主査	松野 弘宗	R5

令和5年度

第2回「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会資料



「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会

令和5年度「とんぼの未来・北の里づくり」  
事例発表会のアンケート結果について

1. 今回の事例発表会について

本日の事例発表会の中で参考になった発表等を以下の中から選択。  
また、具体的に参考になったことを記入。（複数回答可）

アンケート回収枚数： 371 枚

選択肢	回答結果
1. 多面的機能支払交付金の今後の展開方向について	206
2. 多面的機能支払交付金における円滑な組織運営について	241
3. 現地視察研修の報告について	193
4. 刈払機とチェーンソーの基本操作と安全対策について	286
<p>【参考になったこと】</p> <p><b>1. 多面的機能支払交付金の今後の展開方向について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食料農業農村基本法への多面的維持の位置づけ</li> <li>・ 食料消費構造や今後について</li> <li>・ 農政を取り巻く状況の変化 など</li> </ul> <p><b>2. 多面的機能支払交付金における円滑な組織運営について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の運営について注意点がわかりやすくまとめられていた</li> <li>・ 事務担当者が長年に渡っている現状。担当の複数人化、チェック体制の見直しも必要</li> <li>・ 自分達の行っているやり方で良いと認識した</li> <li>・ 不正事案の未然防止</li> <li>・ 合意形成の大事さや組織運営についての問題点とどの様に解決していけばいいのか学べた など</li> </ul> <p><b>3. 現地視察研修の報告について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申内環境保全会の活動と三区町環境保全隊の活動</li> <li>・ 女性役員の起用による新たな活動の可能性</li> <li>・ 女性組織中心とした活動について女性役員登用の重要性が感じられ非常に参考になった</li> <li>・ 草刈隊の結成・女性の活躍推進</li> <li>・ 女性の活動による活性化</li> <li>・ 教育や非農家等との連携の重要性</li> <li>・ 女性目線での細かい対応が今後農村には必要不可欠になると思った など</li> </ul> <p><b>4. 刈払機とチェーンソーの基本操作と安全対策について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チェーンソーが上手く使えなかったので参考になった</li> <li>・ 普通に使っている道具が大変危険な道具であることが改めて認識することができた</li> <li>・ 草刈に伴う危険性を学べたので、総会などを通じて情報共有を図りたい</li> <li>・ チェーンソーや刈払機の危険な事例説明</li> <li>・ 使い方や危険な行為が改めて勉強になった</li> <li>・ 作業スタイルと安全対策について学べた</li> <li>・ 払い機・チェーンソーの件は非常に参考になったので、今後も同様類似の講習を希望する</li> <li>・ 危険区域は5m、15m離れて作業すること など</li> </ul>	



## 2 事例発表会のテーマについて

今後、事例発表会で取り上げて欲しいテーマを、以下の中から選択。（複数回答可）

選択肢	回答結果
1. 多様な参画・連携の促進	116
2. 活動組織の広域化	57
3. 女性の活躍	49
4. 広報の強化	11
5. 土地改良区やJAとの連携	87
6. 作業の安全管理対策	79
7. 事務のシステム化	70
8. 事務の効率的な執行	96
9. 雑草対策	63
10. その他（具体的な内容） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業と連携している事例（複数の意見あり）</li> <li>・ 農福連携（複数の意見あり）</li> <li>・ 学校教育との連携</li> <li>・ 九州・四国など北海道と離れた土地でどのような活動をされているか知りたい</li> <li>・ 取組内容も必要ですが、その取組を実施した「人」のインタビュー（何人かで）</li> <li>・ 事務局業務の人材確保。PCなどで専門的な技術が知識・経験が少ない人でも処理できる</li> <li>・ 来年も刈払い機・チェーンソー講習お願いしたいくらい面白かった</li> <li>・ 高齢化対策</li> <li>・ 集落維持における多面的機能活用例</li> <li>・ 学校（高校・大学等）との連携した取組事例                      など</li> </ul>	

## 3 事例発表会の開催方法について

事例発表会の開催方法を選択。  
また、開催地に関して意見があれば記入。

選択肢	回答結果
1. 毎年札幌1カ所開催	291
2. 毎年札幌1カ所と地方1カ所の2回開催	117
3. 毎年札幌1カ所と地方2カ所の3回開催	84
4. その他	53
【開催地について】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎年札幌年2回</li> <li>・ 札幌で3回講演</li> <li>・ 札幌市と旭川市</li> <li>・ 札幌市と帯広市</li> <li>・ 道央・道北・道東</li> <li>・ Web開催                      など</li> </ul>	

## 4 質問・感想

事例発表会全体をとおして質問等を記入

### 【質問】

- 1 他町より当町に農地を持ち営農する事となった農業法人が有り、無農薬栽培をしていますが、最初は地域の保全組合等に参加し草刈等を行っていましたが突然生態系維持と称して、草刈をしなくなりました。田・畑両方共にしておらず、近隣住民（農家）との問題を起こしています。草刈りは必須項目ですので、対象農地をはずす事も考えていますが、他に何か良い案があれば教えていただければありがたいです。
- 2 現地視察の概要の説明は不要。その分視察内容について詳しく説明した方が良い。  
草刈隊への指導指示はどのようにされているか  
保険などの対応 労基などの対応はどの様にされているか？
- 3 発表資料円滑な組織運営について  
P10の役員が・・・役員が定期的に交代とあるが定期的の年数は？  
P11の会計事務委託する場合  
事務担当者は2～3年で代えること  
年1回別な担当者を2～3ヶ月交代する説明がありました  
現実的に可能ですか  
当事務局は委託先の事務は1名体制ですがどう対応すればよいか。
- 4 1.計画変更に伴う予算調整（補助金申請）等について当町においては8地区に係る計画変更（例年10月）により対象農用地面積が大きく増減する状況にあります。（特に国営基盤整備事業の施工に伴うものや農家住宅建設等による農地転用）  
しかしながら本年度協議会に確認したところ対象農用地面積の減に伴う交付金の減額については当然減額となるが面積が増となった場合は、予算調整する場合でも交付金の増額措置がされないとのことですが本年のみでなく、以降同じ措置となるのでしょうか？  
詳細についての説明があるのでしょうか？

### 【意見】

- 1 畑地化に伴う多面的機能支払交付金の活動をわかりやすくしていただきたい。  
畑地化を進める一方で農地維持管理、資源向上の面で今までと同じ活動をして減額されるのであれば活動意欲の低下と活動そのものが危ぶまれる。  
農水省の方々も有識者だけでなく現場で活動している人の話を聞いて頂きたい。  
農業者の高齢化、地域住民の高齢化に伴う農業関係人口の減少が目に見えている中で今後のどのような考えか教えていただきたい。
- 2 開催時期をもう少し早い時期にして頂きたいです。玉ねぎの播種作業がすでに始まっています。諸事情あるかと思いますが1月末せめて2/5ぐらいまでにして頂ければありがたいです。ぜひ検討願います。
- 3 全体を通してですが、北海道の広大な農地保全には今以上の交付金の増加を求めたい。  
北海道は農村環境保全により道外や国外からの観光客が一年中訪れる地域です。その地域の農地及び景観をさらに維持するために今から考えなければなりません。近い将来担い手不足により農村保全が難しくなる前に一歩進んだ施策を希望いたします。
- 4 内容的に難しいとは思いますが貴重なお話をありがとうございました。可能であればまた札幌開催をお願いします。
- 5 多面的機能支払交付金の不正について市、または町に不正がないか管理してもらってはどうか。
- 6 休憩をとってほしい。
- 7 毎回色々な事例があってバリエーションにとんでいることはよくわかるが具体的にどんな作業にどのくらいのお金を使っているのかがわからないのでいまいち参考にならない。例えば、子供を集めて田んぼの生き物をさがす活動をするとして、その日、誰の何にいくらかかるか、それともお金をかけずにやっているのか？  
広く活動内容を紹介するばかりでなく、一般的には行われていない具体的な活動について日報や出納まで掘り下げて紹介することしてほしい。

- 8 中山間地域に過疎化の対応について知りたいです。
- 9 畑地化に伴い交付金の額が減る為それに対する対策等は今後できるのか？  
なぜなら維持管理に対する予算、活動に対する目的すべてが厳しい状態になってしまうので。  
今回作業機械の話がありました地区に戻ったあと構成員への説明するにも限りがあるので、地区で講習を行ってほしい。
- 10 質疑応答の時間がほしかった
- 11 YouTubeの配信があるのであれば事前に知りたかった。第3期対策について詳しく聞きたい
- 12 席がはじから座るので中央の席が空きます  
受付で組織ごとにつめて座るように指示していただきたい。
- 13 開催時期をもう少し早くしてほしい  
2月上旬頃までに開催していただけたらハウス作業等が始まる前が出やすい。
- 14 事例発表ではもっと詳しく述べてもらえればわかりやすいと思います。
- 15 令和7年からの新たな政策等についての情報を早く通達してもらえようようにしてほしい。
- 16 質問タイムはほしい
- 17 道南圏でも開催していただけますと幸いです。
- 18 途中退席している方が散見されるが交付金をもらって参加しているし、交付金の原資は税金。途中退席はよほどのことがない限り認めるべきでないと思う。負担は増えるが出欠の受付もしっかりするべきと思います。  
せっかく勉強になる内容を発信しているのにもったいないです。

#### 【感想】

- 1 とても参考になりました。毎年開催していただけると勉強になります。
- 2 コロナの影響で活動が停滞している感があったが事例研修会の先進視察が各活動組織の道標となっていることから今後も継続してほしい。
- 3 来年も発表会よろしくをお願いします。
- 4 普段使い慣れた刈払い機・チェーンソーは簡単に使用できるがやはり、危険であると今一度再確認でき安全に役立つ知識として役立てたい。
- 5 発表中、周囲の私語が多く聞きづらかった
- 6 女性の活動役員参画による女性ならではの感性や視点に感心しました。
- 7 内容が大変充実していました。
- 8 作業機械の安全対策が後半の次第になっていたため、離席する方が多かったので前段にしてもらいたかった。
- 9 改めて勉強させていただきました。ありがとうございました。
- 10 宮崎雅夫さんの話はよかった。多面的の交付金単価に見直し本州と北海道の単価の差。  
続けることが大事だと思う
- 11 勉強になりました

農林水産省ワーキンググループ(WG)に関する情報提供  
について

# 農林水産省ワーキンググループ（WG） に関する情報提供について

北海道農政部農村振興局農村設計課

## 1 WGの概要

多面的機能支払交付金の円滑な推進及び効果的な事業展開等を図るため、現場実態における課題を把握するとともに、更なる多面的機能支払交付金の取組の推進に向けた意見交換を行う。

※WGメンバー：各農政局担当者、各都道府県担当者（各農政局1都府県程度）

## 2 R5開催実績

### ○第1回会合

開催日：令和5年9月7日（木）

参加者：北海道農政部農村振興局農村設計課 小笠原係長  
岩見沢広域協定 干場代表  
北海道日本型直接支払推進協議会 佐藤副主幹、松野主査

議 題：①次期対策に向けた、外部人材、企業等の呼び込みによる活動の強化について  
②災害時における交付金を活用した応急措置・災害復旧、防災・減災に関する取組について

### ○第2回会合

開催日：令和6年1月17日（木）

参加者：北海道農政部農村振興局農村設計課 小笠原係長、西村主査  
まっかりニコニコクラブ広域協定 向井代表  
北海道日本型直接支払推進協議会 佐藤副主幹、松野主査

議題：①次期対策における活動組織と企業の連携に向けた取組について  
②要望額を満たせない資源向上支払（長寿命化）における、予算の範囲内での安定的な運用について  
③次期対策を進めるに当たっての広報活動の在り方について

### 3 情報提供

#### (1) 企業との連携事例

区分	山形県	鹿児島県
業種	建築	車輛設計
活動を知ったきっかけ	<ul style="list-style-type: none"><li>・長寿命化の取組を通じ、活動組織からの協力依頼があったため</li><li>・県発注の工事に関して、総合評価落札方式の地域貢献活動に対する加点項目となっているため</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会の代表と地元大学の教授から地域活性化への協力依頼があり、地域のイベントや会合に参加したことがきっかけ</li></ul>
連携することを決めた理由	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域との繋がりが広がることにより、自社を知ってもらう機会となるため</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方々が地域に愛情と誇りを持ち、いつも笑顔で接していただけることに感銘を受けたため</li><li>・自社の基本理念である地域貢献にもマッチしているため</li></ul>
連携している取組	<ul style="list-style-type: none"><li>・活動組織から要望を聞き取り、測量や重機（オペレーター含む）の提供等</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域のクリーン活動（草刈）や田植えイベントへの参加</li><li>・新米の社内販売の斡旋や地域の焼酎を会社のノベルティとして使用</li></ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"><li>・活動組織の構成員個人からの受注</li><li>・総合評価落札方式による地域貢献活動としての加点</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方々のおかげで企業活動ができると考えており、活動への参画により地域への恩返しの際をいただけること</li></ul>

## (2) 連携していない企業へのアンケート

区分	三重県	兵庫県
業種	金融	食品販売
活動組織との連携の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隔月で発行している冊子に活動組織の取組を掲載することは可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社が取り扱っている食材の産地において、社員研修の一環とした収穫体験等の取組</li> </ul>
活動組織との連携によるメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域社会に対する社会貢献やSDGs貢献に繋がる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食材の知識以外に、それらを作る農家の努力を知るきっかけとなる</li> <li>・ 食に関わる企業として、農業の持続可能な発展に向けた取組への参画をPRできる</li> </ul>

区分	鳥取県	北海道
業種	保険	スポーツ関連
活動組織との連携の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社の営業活動において、チラシ等を配布し、活動を周知することが可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体が主催する田んぼのオーナー制度への参加など、取組に対して人員の派遣や告知業務等、後方支援的な形での連携は可能</li> </ul>
活動組織との連携によるメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社のSDGs活動の認知度が向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGsの目標に向け、対外的に発信することにより自社のブランディングにつながる</li> <li>・ 企業活動を支えていただいている地域とのつながりを深めることができる</li> </ul>



令和5年度活動報告について

資料3

行動計画			活動実施
1	R5.4 会員の推薦依頼および委嘱手続き		・新規会員の参画等 (小野係長、鈴木主任補、西村主査、松野主査)
2	R5.9.6 第1回事例研究会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事例研究会行動計画</li> <li>・令和5年度における視察研修の検討</li> <li>・令和6年度に向けた多面的機能支払制度の情報提供</li> </ul>	R5.9.6 第1回事例研究会開催 場所：(札幌市) 駅前ビジネススペース カンファレンスルーム2H 会員12名参加(欠席：佐藤事務局長、目黒顧問、藤川会長、今多会長) オブザーバー8名参加
3	R5.12.5～7 現地視察研修	全道事例発表会での発表を見据え活動組織の女性参画や地域外からの非農業者の参画、持続的な地域づくりに向けた農村RMOの取組み事例の収集	R5.12.5～7 現地視察研修開催 視察者：11名(干場代表、永山課長補佐、鈴木課長、藤川会長、今多会長、向井会長、鈴木主任補、友貞主事、小笠原係長、佐藤副主幹、松野主査) 視察先：(栃木県・宇都宮市) 女性組織を中心とした活動再開の取組 (栃木県・那須塩原市) 人と人とのつながりによる多様な取組の展開の事例 (東京都) 農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム
4	R6.1～2	2の成果とりまとめ等	視察研修成果取りまとめ：永山課長補佐、鈴木課長
5	R6.2.15 全道事例発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的機能支払交付金の今後の展開方向(基調講演)</li> <li>・多面的機能支払交付金における円滑な組織運営について(講演)</li> <li>・事例発表</li> <li>・機械の安全使用に関する研修</li> </ul>	R6.2.15 ロイトン札幌「ロイトンホール」 出席者1,309名、会員14名参加 視察研修報告：事例研究会及び現地視察研修の概要について 発表者： 向井会長、鈴木主任補、小笠原係長、松野主査
7	R6.3.7 第2回事例研究会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度活動報告について</li> <li>・今後に向けた本研究会での検討内容</li> <li>・令和6年度行動計画(案)</li> <li>・事例研究会員の委嘱</li> </ul>	R6.3.7 第2回事例研究会開催 場所：(札幌市) 北海道自治労会館 4階 第4会議室 会員12名参加(欠席：小嶋主事、佐藤事務局長、目黒顧問、藤川会長) オブザーバー9名参加

## 今後に向けた本研究会での検討内容について

岩見沢市広域協定 代表 干場 法美		
1. 拡充要望	2. 機能診断・補修技術研修	3. その他の要望
○多面的機能支払交付金に関わる協力会などの組織体強い繋がりが継続されている状況下において、みどりの食料システム戦略に関わる事業との連携を拡大要望したい。		○事例研究会でも草刈りの労働不足が取り上げられていますので、農業支援サービス事業を活用した連携手段。農業者組織・法人の事業申請、実施報告などの手法講義。
大雪土地改良区 工務課 課長補佐 永山 大嗣		
1. 拡充要望	2. 機能診断・補修技術研修	3. その他の要望
○施設の軽微な補修・水路・積雪被害防止作業について、ポンプ場屋根雪下ろし・水路調整施設等の雪下ろしを交付金の対象とした。い。（施設からの落雪による隣接水路・管理農道の破損・浸食被害を防止するため。）	○農道における補修技術の研修、費用を軽減する補修及び機械（ロードメーカー等）による補修に関する話を聞きたい。 ○施設の法面保護技術の研修、きめ細やかな雑草対策としてカバープランツ・抑草ネット・薬剤による除草等の除草作業軽減に係る技術に関する話を聞きたい。	

1. 拡充要望	2. 機能診断・補修技術研修	3. その他の要望
<p>○拡充要望として、以前の会議の中で集中管理孔の話が出たが、多面の対象とならないとの回答であったが、ここ10数年で我々の地区や他地区でも国営・道営事業が進んでいき、集中管理孔を採用した農地が増えてくると考える。用水路もパイプラインとなり、これまで実施していた泥上げ作業や、簡易的な補修が無くなっていくと考えられる事から、「集中管理孔の管理・暗渠排水の管理」に係る拡充について、再度検討して頂けないかと考える。</p>	<p>○当組織エリアで草地帯は無く、畑地帯が若干数あるが、畑の給水栓の凍結による破損が年に数件あり、そういった場合の給水栓の補修や、凍結防止対策について周知できる場があるとありがたいと考える。</p>	<p>○現在教育機関との連携（小中高・大学・専門学校など）について検討を進め、6年度中に協議を開始していきたいと考えているが、地元の小学校であれば、区組合員のお子さんも在籍している事から、組合員から先生に聞いてもらい学校に話せる事ができる。しかし、旭川市内の高校や大学などはツテ等も無い事から中々話しをするのが難しい。可能かどうかはわからないが、市町村単位で、各市町村に存在する高校、大学などに「多面組織との連携」（どのような活動に参加してみたいか等）アンケート等を実施し、市町村で結果を取りまとめし、活動参加の要望があった教育機関との連携を希望している多面組織とマッチングできる仕組みを作ってはどうかと考える。教育機関と連携してみたいが、何から始めればよいかかわからず、諦めてる組織も多々あると考える。各市町村の考え方にもよるが、市町村が先頭に立って、教育機関側の意見等を一齐に聞き取り集約し、組織に繋げていけば、多面組織のある地域のみならず、市町村全体としての活性化、また、多面的機能支払交付金を非農業者に広く知ってもらい良い機会に繋がっていくのではと考える。</p>

大空町広域協定運営委員会 会長 今多 信悟

1. 拡充要望	2. 機能診断・補修技術研修	3. その他の要望
<p>○協定農用地外の農用地を交付金の対象にしたい。近隣市町村にある構成員の圃場を対象にし、市町村によって取組み内容が異なる為。</p>	<p>○大空町では農地保全・農道補修・排水路補修の3本柱の補修工事を実施しております。令和3年度から試験的に畦畔・沈砂池・土水路・落口の方法を活用し施工。施工箇所を中心に現場視察を開催し現地で状況及び施工方法を説明し、構成員へ周知しております。目的としては、道路側溝・排水路・河川等への土砂の流出を防ぎ、土砂上げ等の経費も抑えることが出来る取組みとなる。</p>	<p>○振興局単位での事例発表会の開催、各市町村にて取組んでいる交付金の活用方法を発表する。</p> <p>○近隣市町村を中心に、現場視察を実施。</p>

まっかりニコニコクラブ広域協定 会長 向井 芳和

1. 拡充要望	2. 機能診断・補修技術研修	3. その他の要望
	<p>○真狩村では国営事業、道営事業等で圃場勾配整備を行っている状況です。それに伴い、公道との取付道路の傾斜角度により砂利補充しても春の融雪水により流されてしまう箇所が多発してます。材料費、人件費高騰により低費用で効率的な補修技術を研修したい。</p>	

岩見沢市農政部農業基盤整備課基盤整備係 係長 小野 洋志

1. 拡充要望	2. 機能診断・補修技術研修	3. その他の要望
<p>○北海道における交付単価の引き上げ。近年、労務単価が著しく上昇していることや、他府県より道単価が安価であるため。</p> <p>○田んぼダム推進のため、面積要件の緩和及び10a当たりの単価の増額。現状「加算措置のうち、田んぼダムの推進において資源向上支払(共同)の交付を受ける田面積の2分の1以上で取り組む場合」、「単価 都府県400円 北海道 320円」</p>	<p>○農業排水路の簡易補修</p>	

帯広市農政部農政室農村振興課農村振興係 主任補 鈴木 由菜

1. 拡充要望	2. 機能診断・補修技術研修	3. その他の要望
	<p>○水田地帯ではコンクリート水路といった施設が多い。一方、畑地帯では、主として明渠と農道といった施設のみで、機能診断や補修技術を習得して実践する施設が正直少ないと見受けられる。</p> <p>また、畑と草地帯にあっては、施設量が少ないという理由で水田地帯よりも単価が少額とされている。</p> <p>このことから、畑と草地しかない活動組織にあっては、「機能診断・補修技術に関する研修」の受講要件が免除されるといった要件緩和を望む。</p>	

1. 拡充要望	2. 機能診断・補修技術研修	3. その他の要望
		<p>○資材・燃料価格高騰に伴う農道の草刈り及び農道整備への影響について、対策している組織があれば情報が欲しい。</p> <p>○草地地帯における交付単価の見直し</p>

## 令和6年度 事例研究会行動計画（案）

R6.3.7現在

1	R6.8	第1回事例研究会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度に向けた拡充要望</li> <li>現地視察研修計画の策定</li> </ul>
2	R6.12	現地視察研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>2泊3日行程を想定</li> <li>※全道事例発表会での発表を見越した開催を想定</li> </ul>
3	R7.3	第2回事例研究会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6年度の本研究会の活動成果報告</li> <li>R7年度の行動計画案の策定</li> <li>新制度に向けた情報提供</li> </ul>
		草地带分科会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜実施</li> </ul>

	R7.2	全道事例発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動事例の発表、現地視察研修の発表</li> <li>機能診断・補修技術研修に関する講演</li> </ul>
	未定	女性参画の推進に資する意見交換会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>時期や開催方法等は今後検討する</li> </ul>

※ 道外から視察研修の申し出があった場合は、本研究会の会員も都合がつく範囲で出席する。

※ 全国事例研究会等の開催に際し、発表者やパネリストの推薦依頼があった場合は、本会員からの推薦も検討する。